

## 社会的便益に係るヒアリング項目（案）

特に下記の点についてお話を伺えればと考えております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、よろしく願いいたします。

### I ○○職種技能検定に係る活用の現状について

1 貴業界及び傘下企業において、○○職種に係る技能検定はどのように活用されていますか。

【例】業界における統一的な能力評価基準として

専門性に対する従業員の意欲向上のきっかけとして

能力開発の目標として

取引先、消費者等に対する技能レベルの証明材料として

2 貴業界の傘下企業において、○○職種の従事者数に占める○○職種技能士の割合（％）はどの程度ですか。

3 貴業界、傘下企業、労働者にとって、○○職種に係る技能検定が国家試験であることの必要性及び国家試験でなくなった場合に想定される具体的な弊害について、以下の観点からそれぞれお教えてください。

(1) 業界における円滑な技能継承のため

(2) 業界において、一定水準の品質を持つ製品を安定に供給するため（製品の製造過程で必要とされる部品、材料、原型などの調整を含める。）

(3) 業界内の統一的な技能評価のため

(4) 企業の能力開発年間計画における目標設定のため

(5) 企業内における社員教育のため

(6) 企業の若手技能者の確保・定着のため

(7) 労働者にとって、技能士現場常駐制度や他資格の受験資格付与などの技能士優遇措置のため

(8) 労働者にとって、技能者としての自信の形成のため

【例】自分の技能を磨くため など

(9) 労働者にとって、技能者のキャリア形成の一環のため

【例】転職に役立てる、昇級の目標設定にする など

4 我が国の安心・安全を確保するための観点から、○○職種に係る技能検定が国家試験であることの必要性及び国家試験でなくなった場合に想定される具体的な弊害について、以下の観点からそれぞれお教えてください。

(1) 消費者・国民の生活にとっての安心や信頼の確保のため

(2) 国の将来的な伝統産業の振興のため

(3) 国の将来的な国際競争力・技術レベルの維持のため

## Ⅱ ○○職種技能検定の今後の需要及びそれを見込んだ対策について

- 5 ○○職種技能検定の受検者数が増加しない要因と今後状況が改善し受検者数が増加する見込みについて
- (1) ○○職種の技能を必要とする対象物の需要の変動  
(生産量、生産額などの具体的な数字がわかる資料があればご提示ください。また、今後状況が改善し、受検者数が増加する見込みについて、お考えをお聞かせ下さい。)
  - (2) ○○職種に必要とされる技能の質の変化  
(求められる技能の中身の変化、機械による置き換えなど、変化の具体的な内容についてお聞かせください。また、現在の技能検定試験の内容と現場で求められる技能の内容に乖離が生じている場合、試験基準の見直しによってどの程度の受検者数の増加が見込まれるか、お考えをお聞かせください。)
  - (2) ○○職種における若年者の新規参入の程度、従事者数の変化  
(若年者の新規参入や従事者数の変化について、具体的な数字がわかる資料があれば提示ください。また、若年者の新規参入を促すために有効と考えられる対策がありましたら、お考えをお聞かせください。)
  - (4) その他、考えられる要因
- 6 ○○職種技能検定の受検者を増やす方策としてどのようなことが考えられますか。
- (1) 業界側として取り組む用意がある、又は検討しているもの
  - (2) 行政側に取り組んでほしいもの  
※検定試験の内容改正が必要な場合は、改正の具体的な内容についてお教えください。
- 7 受検者を増やす方策が実施された場合、どの程度の技能検定受検者の増加が見込まれるとお考えですか。
- 8 業界団体等が指定試験機関となって、自ら技能検定試験を継続する意思はありますか。
- 9 ○○職種のキーポイントとなる単位技能として考えられるものは何ですか。また、既存の技能検定職種で、同じ単位技能が重要と考えられる職種はありますか。
- 10 ○○職種の技能検定試験を隔年、又は3年ごとに実施した場合、受検者の増加は、どの程度見込めますか。

御協力ありがとうございました。